にじ 虹

ニュースレター No.80 December 2016

MICかながわ

特定非営利活動法人
多言語社会リソースかながわ

〒221-0835
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
かながわ県民センター内
Tel：045−314-3368
Fax：045−342-7918
e-mail : mickanagawa@network.email.ne.jp
URL : http://mickanagawa.web.fc2.com/

ニュースレターは６月・９月・12月・３月発行の季刊紙です。

とくしゅう：かながわいりょうつうやくはけんシステムにおけるコーディネーターのやくわり

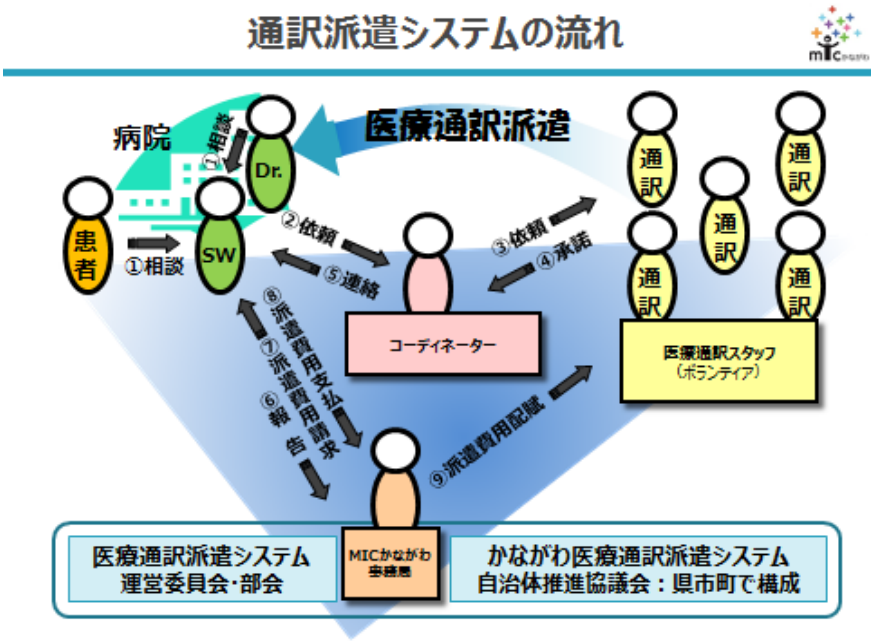
特集：かながわ医療通訳派遣システムにおけるコーディネーターの役割

神奈川県では年間6000件を超える医療通訳派遣の実績があります。これだけの実績を支えているのはだれでしょう。

◎システムの土台を支える

まずシステムは大きく分けて、①行政 ②医療機関 ③NPOの３つの団体に支えられています。具体的には、①神奈川県と県内自治体で構成されている自治体推進協議会 ②神奈川県の病院協会／医師会／歯科医師会／薬剤師会 ③運営を担っているNPO法人多言語社会リソースかながわ（通称：MICかながわ）です。

この三者で、年に２回運営委員会を開催しています。また、運営委員会には主に現場の課題を検討する部会があり、同じく年に２回開催されています。この部会には各協定医療機関の窓口担当者、コーディネーター代表、医療通訳スタッフ代表が参加します。コーディネーターからも毎年ひとりずつ代表が参加し、コーディネーターブースからのお願いや、抱える課題などを神奈川県や医療機関に伝えています。



◎派遣システムの流れの要

医療通訳派遣システムは、活動してくださる医療通訳スタッフおひとりおひとりの協力があってこその事業ですが、スムーズに依頼を派遣に繋ぐためにはコーディネーターの存在が欠かせません。2016年度は 16人のコーディネーターが交替でコーディネーターブース業務を行っています。コーディネーターの中には、医療通訳スタッフ兼務、元医療ソーシャルワーカー、事務局兼務や理事兼務の人もいます。医療通訳スタッフがいることで現場の事情が理解しやすく、元医療ソーシャルワーカーがいることで病院側の事情が理解しやすいという利点があります。また、事務局スタッフや理事がいることで、何か問題が起こったときに事務局や理事会につなぎやすいという利点があります。いろいろな視点でコーディネーターブースはサポートされているのです。

◎通訳派遣のコーディネート

依頼が来たときに、病院、その所在地、言語、日付、診療科、その条件で地理的に近くに住んでいる医療通訳スタッフに依頼するというコーディネート業務も、現在は単純な作業ではなくなってきました。

1. 診療科や診察内容によって、派遣する医療通訳スタッフの性別も考慮しなければなりません。
2. 依頼内容の難易度によって、医療通訳スタッフの経験値等も考慮しなければなりません。
3. 患者さんの状況によって、配慮しなければならないことがあります。医療通訳スタッフ数名でチームを組んで交代で通訳業務を行うこともあります。

例えば、病気の深刻度によっては、医療者側も患者側も毎回同じことを説明しなければならないのは負担です。病状が落ち着くまでは事情のよくわかっている医療通訳スタッフに入ってもらいたいという希望があります。だからといって、ひとりの医療通訳スタッフが担当することになってしまうと、医療通訳スタッフ自身の負担が大きくなり、どうしても都合のつかないときのことを考えると、数名でチームを組むことが望まれます。このようなコーディネートは、病院の担当者とコーディネーターとで相談しながら対応していきます。

また、通訳内容をあまりたくさんの人に知られることを患者が望まない場合も、同様に少人数の通訳で対応していくということがあります。

1. は、機械のマッチングでもできるかもしれませんが、2. 3. となると、それだけではない人間的な部分つまり配慮が必要になってきます。コーディネーターは日頃からの電話でのやりとり、現任者研修や言語別勉強会などで積極的に医療通訳スタッフとコミュニケーションをとり、顔の見える関係づくりに努力しています。また、よりよいコーディネートを行うために病院の窓口担当者との関係づくりも大切にしています。

◎コーディネーター会議／研修

月に１回開催されるコーディネーター会議では、コーディネート上、特に配慮が必要な事例が議題に上がります。シフトは日替わりのため、コーディネーターによって対応が異なることのないよう、事例の共有を行います。

年３回開催される医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修では、通訳スタッフの顔を覚えるためにコーディネーターが受付を担当しています。通訳スタッフに電話をかけるとき、声を聞きながらその人の顔が見えているという感じです。

他に、年に２回開催されるコーディネーター研修に参加します。コーディネーター研修では外部から講師を招いて講義を聴くこともあります。これまで接遇ややさしい日本語について学びました。なぜ

接遇かというと、コーディネーターの業務そのものが対人の、しかも電話を通した仕事なので、相手に与える印象が大切であるとともに、誤解を与えない会話が必要になるからです。それがスムーズな業務につながります。また、やさしい日本語というのは、日本語が母語ではない医療通訳スタッフと会話するときに、正しく情報を伝えられるよう難しいことをやさしく言い換えができるように気を遣うことが必要になるからです。

　このコーディネーター研修では、年２回のうち１回は協定医療機関の窓口担当者を招いて直接意見交換をしています。ふだん電話でやりとりをしている医療機関の窓口担当者と直接顔を合わせて遠慮せず話し合うことは、お互いに親近感も増すだけでなく、より適切なコーディネートを行うのに役立ってきました。また、医療機関の方々からも、他の病院での依頼の仕方や通訳の現状等を知るいい機会になっているという声が上がっています。

◎コーディネーターの一日

8：40～50　出勤。パソコンや受付票のファイル、通訳名簿等をキャビネットから取り出し、それぞれのデスク（ファースト・セカンド・サード）で業務開始の準備。留守電や前日のコーディネーターからの申し送りを確認します。

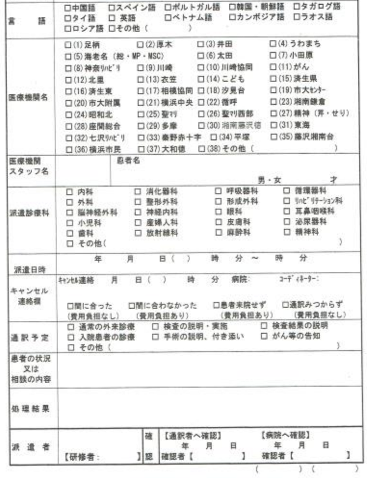
ファースト	セカンド	サード
医療機関からの依頼受付 ＋通訳コーディネート 045－317－8803	一般通訳の依頼受付 ＋通訳コーディネート 045－317－8813	通訳コーディネート 曜日によっては勤務なし

9：00 午前の業務開始　**12：00～13：00** 昼休み　**13：00** 午後の業務開始　**16：00** 依頼受付終了

　ファースト担当は次から次へと来る病院からの依頼の受付に毎日奮闘、1日に50件以上の依頼を受けることもあります。言語、日時、診療科、患者さんの名前、病院の窓口担当者の名前、通訳内容などを聞き取ります。セカンド担当は、学校の三者面談の時期は大忙しです。

　病院や学校などからの依頼電話の合間を縫うように通訳スタッフに電話をして、都合を聞いたり、つながらないときはメッセージを残したりと休む間もなく、4時過ぎての残務処理が終わると、疲労困憊。２～３年前までは２週間くらい先の依頼をコーディネートできていましたが、今は3日先がやっとというときもあります。

　「この日は通訳に行けます」と空いている日を連絡してくれる通訳スタッフも増えてきて、コーディネーターにとっては大助かりです。



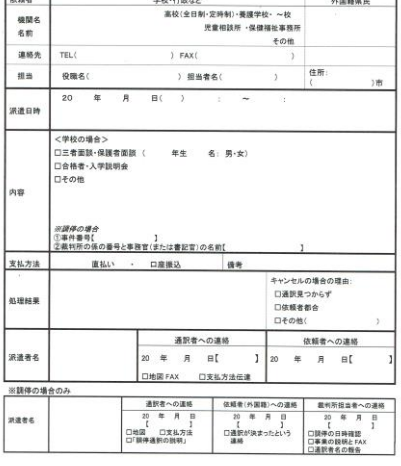
(様式1)　平成28年4月～

医療通訳スタッフ派遣依頼・相談受付票

受付番号	16－　受付年月日　年　月　日（　）　受付者名
種類	□新規　□継続（直前受付番号No.　）　□超過（超過前番号No.　）
言語	□中国語　□スペイン語　□ポルトガル語　□韓国・朝鮮語　□タガログ語　□タイ語　□英語　□ベトナム語　□カンボジア語　□ラオス語　□ロシア語　□その他（　）
医療機関名	□(1)足柄　□(2)厚木　□(3)井田　□(4)うわまち　□(5)海老名（総・MP・MSC）　□(6)太田　□(7)小田原　□(8)神奈川リハビリ　□(9)川崎　□(10)川崎協同　□(11)がん　□(12)北里　□(13)衣笠　□(14)こども　□(15)済生県　□(16)済生東　□(17)相模協同　□(18)汐見台　□(19)市大センター　□(20)市大附属　□(21)横浜中央　□(22)循呼　□(23)湘南鎌倉　□(24)昭和北　□(25)聖マリ　□(26)聖マリ西部　□(27)精神（芹・せり）　□(28)座間総合　□(29)多摩　□(30)湘南藤沢徳　□(31)東海　□(32)七沢リハビリ　□(33)秦野赤十字　□(34)平塚　□(35)藤沢湘南台　□(36)横浜市民　□(37)大和徳　□(38)その他（　）
医療機関スタッフ名	患者名　男・女　才
派遣診療科	□内科　□消化器科　□呼吸器科　□循環器科　□外科　□整形外科　□形成外科　□リハビリテーション科　□脳神経外科　□神経内科　□眼科　□耳鼻咽喉科　□小児科　□産婦人科　□皮膚科　□泌尿器科　□歯科　□放射線科　□麻酔科　□精神科　□その他（　）
派遣日時	年　月　日（　）　時　分～　時　分
キャンセル連絡欄	キャンセル連絡　月　日（　）　時　分　病院：　コーディネーター：　□間に合った（費用負担なし）　□間に合わなかった（費用負担あり）　□患者来院せず（費用負担あり）　□通訳みつからず（費用負担なし）
通訳予定	□通常の外来診療　□検査の説明・実施　□検査結果の説明　□入院患者の診療　□手術の説明、付き添い　□がん等の告知　□その他（　）
患者の状況又は相談の内容	
処理結果	
派遣者	【研修者：　】　確認　【通訳者へ確認】年　月　日　確認者【　】　【病院へ確認】年　月　日　確認者【　】

かながわ医療通訳派遣システム受付票

一般通訳受付票



かながわ一般通訳派遣　依頼受付票

受付番号	16 G-　受付年月日　20　年　月　日　受付者名
言語	□スペイン語　□ポルトガル語　□中国語　□英語　□韓国朝鮮語　□他　□タイ語　□タガログ語　□ベトナム語　□ラオス語　□カンボジア語（　語）
依頼者	学校・行政など　／　外国籍県民
機関名 名前	高校（全日制・定時制）・養護学校・～校　児童相談所・保健福祉事務所　その他
連絡先	TEL（　）FAX（　）
担当	役職名（　）担当者名（　）　住所：（　）市
派遣日時	20　年　月　日（　）　：　～　：
内容	<学校の場合>　□三者面談・保護者面談（　年生　名：男・女）　□合格者・入学説明会　□その他　※調停の場合　①事件番号【　】　②裁判所の係の番号と事務官（または書記官）の名前【　】
支払方法	直払い　・　□座振込　備考
処理結果	キャンセルの場合の理由：□通訳見つからず　□依頼者都合　□その他（　）
派遣者名	通訳者への連絡　20　年　月　日【　】　□地図FAX　□支払方法伝達　／　依頼者への連絡　20　年　月　日【　】

※調停の場合のみ

派遣者名	通訳者への連絡　20　年　月　日【　】　□地図　□支払方法　□「調停通訳の説明」	依頼者（外国籍）への連絡　20　年　月　日【　】　□通訳が決まったという連絡	裁判所担当者への連絡　20　年　月　日【　】　□調停の日時確認　□事業の説明とFAX　□通訳者名の報告

通訳が決まったら、それを病院や学校等に連絡します。仕事をしている通訳スタッフが多いうえに、最近は1日に30人近くがあちこちの病院に派遣されているので、電話もつながりにくく、1件の通訳が決まるまでに5人以上に電話をかけることも少なくありません。逆に、通訳スタッフがコーディネーターブースに連絡をとりたくても電話が話し中のことが多いということもしばしばあるようで、申し訳なく思います。どうしても通訳が見つからないときは、ひとりの通訳スタッフに1日に2件お願いすることも、言語によっては珍しいことではなくなってきました。

◎コーディネーターからのメッセージ

●初期の頃からのコーディネーター　Hさん

医療通訳は、医師や看護師という専門職の方たちと患者さんの架け橋となる存在。「よりよい橋」を架けるにはどうしたらよいか、日々悩みながらコーディネートしています。

MICの通訳は、入念な下調べをした上で通訳に入ります。私自身も通訳ですが、患者さんや病院の方が「通訳が入ってよかったな」と思えるような通訳をすることが一番の喜びです。そのためには、事前情報がとても大切。病院とのやりとりも工夫します。たとえば、病名が分からなくても、この患者さんはどういう目的で受診し、病院は何を目標として考えているのかが分かれば、事前に準備する部分も予想でき、専門職との「情報の格差」を埋める大きな助けになります。

患者さんをケアする医療チームの一員として、医療通訳もぜひ関わらせてほしいなと思っています。

●帰ってきたコーディネーター　Cさん

今年の4月から7年ぶりにコーディネーターに復帰しました。主にファースト（病院からの依頼を受けたり、決まった通訳の情報を病院に伝えたりする係）を担当しています。病院からどんどん入る依頼は、病名も内容も毎回全く違っていて、慣れるまでは聞き間違えないかと本当に怖かったです。7年前と今とではとにかく件数が違います。以前は一日に10-15件だった依頼も、今日は54件。1日が終わるとへトへトです。

ものすごいスピードでMICの通訳事業が世の中に広がってきていて「これ以上依頼が来たらどうなるの？」と思うことも……。でも、「通訳が来なくては本当に困る」という内容がとても多いので頑張れます。また、この数の依頼を受けてくれる通訳さんにも助けられています。本当にありがとうございます。

●元医療ソーシャルワーカーの立場で　Sさん

元々、MICの通訳を利用していた病院で、医療ソーシャルワーカー(MSW)をしていました。退職後そのご縁でコーディネーターとなり約9年。患者さんと直接関わっていたMSW時代と違い、間接的支援に最初は戸惑いもありましたが、病院と通訳をつなぐ作業は患者支援につながる大切な役割と気付いて続けてきました。

以前は守秘義務を理由に病院からの情報取得に苦労することもありましたが、医療通訳のメリットを理解していただく中で、連携もスムーズになってきたと思います。

MICが立ち上がる以前は、患者さんに易しい日本語のメモを渡したり、通訳探しで苦労しましたので、MICの大切さは身に染みています。こうした仕組みが神奈川県以外にも普及してほしいですね。また、難しいと思いますが、医療通訳が保険診療の枠に組み込まれて、いつでもどこでも安心して受診できるようになればいいなと思っています。

コーディネーターは研修の受付を始めとしてさまざまな場面で通訳派遣の事務のサポートもしており、第二の事務局のような存在でもあります。

ある医療通訳スタッフの日記 Vol. 6

医療通訳は、患者さんと医療者の間に存在することばの壁をなくすためにお手伝いをしています。命にかかわる通訳をすることも多く、楽しいことばかりではありませんが、皆、やりがいを感じて活動しています。どのような活動なのか、医療通訳スタッフからのエピソードを通してご紹介しましょう。

2014年登録　医療通訳 M さん

ある日、自宅で仕事をしている私に、MIC コーディネーターから電話が掛かってきました。「陣痛促進剤を打ってもお産が進まない妊婦さんがいる、帝王切開の説明をするので、今日これから行けますか。」という依頼でした。「今日は忙しいので無理です」とお断りしたいところでしたが、人命がかかっていると思って引き受けました。

陣痛促進剤を打っているのにどうして・・・と、強い口調で質問する患者さんを前に、通訳の私も緊張しました。手術前の説明と同意書署名の通訳で終わるのかと思ったら「通訳さん、そのまま手術にも一緒に立ち会ってもらえますか。」と言われました。患者さんも通訳が一緒にいてくれる方が安心とのことで、着替えて手術室に入りました。手術に立ち会うなんて初めての経験だったのですが、緊張をほぐしてくれるように麻酔医の先生が優しく話しかけてくれ、「気分が悪くなったり、何かあればすぐに言ってくださいね」との言葉に妊婦さんも安心していました。

スタッフの方にとっては帝王切開の手術は日常的な事なのでしょうが、私はあまりそういう場には慣れていません。お腹の所で見えないようになっている仕切りカーテンはありますが、立ち上がると見えてしまうのでなるべく見ないようにして平常心を保って患者さんとおしゃべりしていました。手術中は麻酔の先生も交えて母国のお料理何が好き？などと和やかな雑談が繰り広げられていました。出産の瞬間には、なんと妊婦さんの出身国の音楽が手術室に流されて、無事に生まれてきた赤ちゃんを抱っこしたお母さんはとても嬉しそうでした。

生命の誕生の瞬間に立ち会えるなんて滅多にない光栄な瞬間でした。私は手術の光景よりも大量の血液を見たのと鉄分の匂いに当たってしまっていました。本当は倒れそうだったのですが、おめでたい誕生の瞬間にそんなことになると大変。でも、最後まで通訳を務めることができてホッとしました。通訳冥利に尽きる一日でした。

MIC ちゃん 3

「あの資料『エリザベス』かな？」「いや『まゆみ』でしょ」一瞬何のことだかわからない会話が繰り広げられるMIC。実は事務所内の本棚やロッカーすべてに人の名前がついているのです。7～8年前に「番号じゃ味気ないから」と何気なくつけられたそうですが、今ではすっかり定着しています。

言語別自主勉強会情報（報告）　2016年10月～12月開催分

言語グループ	日　時	会　場	内　容
中国語	10月30日(日) 13：30～16：00	かながわ県民センター	鼻詰まりと癌／骨髄移植
ポルトガル語	10月9日(日) 13：00～16：00	かながわ県民センター	一般の人にわかりやすい表現法
	12月11日(日) 13：00～16：00	かながわ県民センター	通訳する際の難しい表現
タガログ語	12月23日(金) 10：00～12：00	MICかながわ事務所	呼吸器の話 講師：ブラフ・クリニック院長　明石恒浩氏
タイ語	10月29日(土) 13：30～16：00	MICかながわ事務所	事例検討
英語	11月27日(日) 13：00～16：30	横浜市西区福祉保健活動拠点フクシア	異常妊娠／ロールプレイ
病理学	10月23日(日) 13：30～16：30	かながわ県民センター	呼吸器系の病気① 講師：藤田保健衛生大学教授　堤 寛氏
	11月13日(日) 13：30～16：30	かながわ県民センター	呼吸器系の病気② 講師：藤田保健衛生大学教授　堤 寛氏
	12月4日(日) 13：30～16：30	かながわ県民センター	がんの話① 講師：藤田保健衛生大学教授　堤 寛氏

10月23日（日）　病理学勉強会風景

堤先生は、ドラマ『フラジャイル』のモデルともいわれている方です。軽妙な語り口で、難しい医療の話をわかりやすくお話ししてくださいます。

12月23日（金）　タガログ語勉強会風景

明石先生はタガログ語が堪能でやさしく教えてくださるので、ネイティブがほとんどであるタガログ語では、みんなが大好きで頼りにしています。

MICかながわは Twitter や Facebook で情報を発信しています。

Twitter のアカウントは @MIC_Kanagawa、

Facebookページは

www.facebook.com/Mickanagawaです。

Twitter や Facebook にアカウントをお持ちの方は、MIC かながわの活動や情報がより多くの方に伝わるよう、ご協力をお願いします。

10 月 1 日(土)　かながわ医療通訳派遣システム事業「医療通訳ボランティア養成研修」3 日目
10 月 8 日(土)　かながわ医療通訳派遣システム事業「医療通訳ボランティア養成研修」4 日目
10 月 9 日(日)　つくば市国際交流協会「第 6 回医療通訳ボランティア養成講座」講師派遣：森田英語通訳
10 月 9 日(日)　群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課「医療通訳ボランティア養成講座」
　　講師派遣：岩本理事・Co.・ポルトガル語通訳
10 月 16 日(日) 群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課「医療通訳ボランティア養成講座」
　　講師派遣：岩本理事・Co.・ポルトガル語通訳
10 月 16 日(日) カトリック藤沢教会バザー出店参加
10 月 21 日(金) 千葉大学医学部附属病院　学内通訳ボランティア研修　講師派遣：森田英語通訳
10 月 23 日(日) 群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課「医療通訳ボランティア養成講座」
　　講師派遣：　霜村スペイン語通訳
10 月 23 日(日) つくば市国際交流協会「第 6 回医療通訳ボランティア養成講座」講師派遣：森田英語通訳
10 月 24 日(月) MIC かながわ理事会
10 月 28 日(金) コーディネーター会議、第 1 回コーディネーター研修
11 月 1 日(火)　かながわ医療通訳派遣システム事業・新任医療通訳スタッフオリエンテーション
11 月 1 日(火)　横浜国立大学法科大学院「地域課題法学演習」ゲストスピーカー：松野理事長
11 月 2 日(水)　都立広尾病院職員研修　講師派遣：岩元副理事長・Co.・英語通訳
11 月 6 日(日)　愛知県立大学シンポジウム「外国人にやさしい医療現場をつくる」
　　パネリスト派遣：岩本理事・Co.・ポルトガル語通訳
11 月 6 日(日)　外国人無料健康相談会　於：カトリック藤沢教会(藤沢市)
11 月 16 日(水) 神奈川県消防学校専科教育救急科教育訓練
　　講師派遣：星中国語通訳、ヒューバート会員、バルガス事務局スタッフ
11 月 16 日(水) 湘南鎌倉総合病院職員研修　講師派遣：岩本理事・Co.・ポルトガル語通訳
11 月 19 日(土) 茨城県国際交流協会「通訳・翻訳サポーター研修会」
　　講師派遣：岩本理事・Co.・ポルトガル語通訳
11 月 20 日(日) 鹿児島県国際交流協会「医療通訳ボランティア入門研修」(災害、医療)
　　講師派遣：岩元副理事長・Co.・英語通訳
11 月 20 日(日) 医療の質・安全学会　第 11 回学術集会(幕張メッセ)事例発表：松野理事長
11 月 21 日(月) MIC かながわ理事会
11 月 25 日(金) よこはま夢ファンド組織基盤強化助成交付団体助成取組後ヒアリング
11 月 27 日(日) 糸魚川国際人材サポート協会「医療通訳研修」
　　講師派遣：田中 Co.・英語通訳、三木 Co.・中国語通訳、高橋タガログ語通訳
11 月 28 日(月) 平成 28 年度生活保護専門通訳研修会
11 月 29 日(火) コーディネーター会議
12 月 3 日(土)　茨城県国際交流協会「通訳・翻訳サポーター研修会」講師派遣：田中 Co.・英語通訳
12 月 3 日(土)　第 2 回医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修
12 月 9 日(金)　神奈川県一般通訳協力者研修
12 月 11 日(日) 佐久市健康づくり推進課ジャパンブランド「健康長寿」推進事業　通訳養成講座
　　講師派遣：草間 Co.・中国語通訳、内藤事務局・Co.・タイ語通訳（アシスタント）
12 月 17 日(土) 佐久市健康づくり推進課ジャパンブランド「健康長寿」推進事業　通訳養成講座
　　講師派遣：佐藤理事・中国語通訳、福島タイ語通訳
12 月 18 日(日) 長野県国際化協会「長野県における医療通訳養成講座／基礎講座」
　　講師派遣：佐藤理事・中国語通訳
12 月 19 日(月) MIC かながわ理事会
12 月 21 日(水) コーディネーター会議

事務局からのお知らせとお願い

～経費節減にご協力のお願い～

今後、MIC からのお知らせはＥメールのみでかまわないという方で、その旨まだご連絡いただいていない方は、お手数ですが事務局までご一報願います。

～書き損じハガキを寄付してください～

もし、ご家庭に書き損じハガキや未使用切手が眠っていましたら、ご寄付をお願いします。事務所にお送りいただくか、研修等でお会いできる機会があれば事務局スタッフにお渡しください。事務局での業務に利用させていただきます。ご協力よろしくお願いします。

● 活動予定 ●

1 月 14 日(土)　長野県国際化協会「長野県における医療通訳養成講座／実技講座」
講師派遣：岩元副理事長・Co.・英語通訳、草間 Co.・中国語通訳
1 月 14 日(土)　岡山県国際交流協会「多文化共生コミュニケーションサポーター医療通訳実践講座」
講師派遣：岩本理事・ポルトガル語通訳
1 月 21 日(土)　長野県国際化協会「長野県における医療通訳養成講座／レベルチェック」
講師派遣：岩元副理事長・Co.・英語通訳、佐藤理事・中国語通訳
1 月 23 日(月)　千葉大学医学部附属病院　学内通訳ボランティア研修　講師派遣：森田英語通訳
1 月 25 日(水)　第 2 回コーディネーター研修
1 月 29 日(日)　小田原市市民部人権・男女共同参画課「学校における通訳ボランティア・スキルアップ研修」
講師派遣：岩本理事・Co.・ポルトガル語通訳、宮嶋タガログ語通訳
2 月 4 日(土)　長野県国際化協会「長野県における医療通訳養成講座／講義・修了式」
講師派遣：岩元副理事長・Co.・英語通訳
2 月 7 日(火)　東京都医療政策部医療人材課「平成 28 年度第 2 回医療社会事業研修会　在住外国人患者への受診・受療援助について」講師派遣：井出理事、佐藤理事・中国語通訳
2 月 23 日(木)　東京都福祉保健局生活支援課「中国帰国者支援・相談員研修」
講師派遣：沢田理事、佐藤理事・中国語通訳、三木 Co.・中国語通訳
2 月 26 日(土)　第 3 回医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修Ⅰ
3 月 4 日(土)　第 3 回医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修Ⅱ
3 月 5 日(日)　群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課
「医療通訳ボランティアフォローアップ研修」　講師派遣：派遣者未定
3 月 9 日(木)　千葉大学医学部附属病院　院内研修　講師派遣：沢田理事、森田英語通訳
3 月 11 日(土)　相模原市シティセールス・親善交流課「通訳実務・実践研修～医療編～」
講師派遣：草間 Co.・中国語通訳
3 月 12 日(日)　群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課
「医療通訳ボランティアフォローアップ研修」　講師派遣：派遣者未定
3 月 16 日(木)　町田国際交流センター「外国人相談部会における医療通訳研修会」　講師派遣：森田英語通訳

手芸部だより

MIC かながわ会員の皆様へ

今年も余すところ数日となりました。MIC かながわ会員の皆様には、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

MIC手芸部は、10 月のカトリック藤沢教会のバザーに続き、12 月 11 日に同教会のミニバザーに出店させていただきました。今回も鶴田前理事長のお世話になりました。東北支援の団体やアジアの女性と子どもを支援する団体など、善意の机がたくさん並ぶ中、手作りのクリスマス・お正月小物やお子さんへのプレゼント用にとミニカーやかわいい柄のポーチなどを販売しました。当日は正味3時間ほどの活動でしたが、お店を訪れてくださった方々には、もちろん、MIC かながわの活動紹介をしました。「ほとんど交通費だけの謝礼でたいへんなお仕事をしていらっしゃるのですね。」と MIC のパンフレットを大事に持って帰ってくださった方がいたことは、嬉しいことでした。

当日の売り上げ 11,150 円は MIC かながわに全額寄付いたしました。ミニバザーにご協力くださった皆様、ありがとうございました。

手芸部の活動は 1月はお休みです。次回の手芸カフェ開催は２月の予定です。追ってお知らせいたしますので、どうぞご参加ください。

それでは、お体に気をつけて、どうぞ良いお年をお迎えください。

手芸部一同

●かながわ医療通訳派遣システム事業　医療通訳スタッフ新任養成研修

募集言語：６言語（スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、英語、ベトナム語、ロシア語）
応募者総数：６言語102 名
英語は書類選考の後、面接による事前選考を経て、養成研修への参加者10名を選考。
スペイン語は面接による事前選考を経て、養成研修への参加者10名を選考。
６言語、39名に対し、９月 17 日(土)から研修開始。

＜研修３日目＞
日時：10 月１日（土）
会場：神奈川県立国際言語文化アカデミア
内容：言語別通訳実技（シミュレーション）

＜研修４日目＞
日時：10 月８日（土）
会場：神奈川県立国際言語文化アカデミア
内容：言語別通訳実技（シミュレーション）

研修４日目には、通訳実技終了後、個別に面接選考を行い25名が選考を通過しました。スペイン語６名、ポルトガル語３名、タガログ語３名、英語５名、ベトナム語５名、ロシア語３名が 2016 年度新規登録者として仲間入りをしました。これにより、かながわ医療通訳派遣システム登録医療通訳スタッフの人数は 208名（重複２名）となりました。

●第１回　コーディネーター研修

■第１回コーディネーター研修
日時：10 月 28 日(日)18：30～20：00
会場：かながわ県民センター12F
参加者：17 名　（コーディネーター15 名＋事務局２名）
内容：協定医療機関窓口担当者と共有するコーディネート対応マニュアルの検討

コーディネーターが医療機関からの通訳派遣を受付けるとき、「小さい兄弟が一緒に小児科を受診する場合は１件ですか。それとも２件になりますか。」などと質問されることがたまにあります。医療機関から相談を受けると、コーディネーターによって回答が違ってしまうことは避けなければなりません。また、医療機関側も対応する人によって解釈が違わないようにするために、コーディネート対応マニュアルを作成することになり、まずはコーディネーター内部で内容の検討を行いました。

●外国人無料健康相談会

日時：11 月６日(日)　13：30～16：30
会場：カトリック藤沢教会(藤沢市)
内容：胸部レントゲン、血圧、尿検査、身体測定、歯科検診、医師による問診、栄養相談
受診者：18 名（6 か国）
通訳派遣：英語・スペイン語・タガログ語　各１名

●平成28年度生活保護専門通訳研修会

日時：11 月 28 日（月）13：30～15：40
会 場 ：かながわ県民センター　711 ミーティングルーム
テーマ：通訳に求められる生活保護制度の基礎知識／通訳体験談
参加者：29 名

今回の研修会では、冒頭「津久井やまゆり園でおきた事件」をうけて、県をあげて、「ともに生きる社会かながわ憲章」の実現に向けて取り組んでいるというお話がありました。

MIC かながわでは『ことばで支える　いのちとくらし』をキャッチフレーズに在住外国人を言葉の面でサポートする活動を行っています。「人権」という言葉の重みと、通訳活動でサポートする重要性について再認識しました。言葉の壁で誤解があったり、現場のワーカーさんが結果として、残念、悔しい、悲しい思いをしていることもうかがいました。

先輩通訳の体験談もあり、参加者から「現場の雰囲気が伝わってきてとても参考になった」「通訳内容はもちろんのこと、心構えが学べて、とても参考になった」という感想をいただきました。

●第 2 回　医療通訳スタッフ･コーディネーター現任者研修

日時：12 月 3 日(土)　13：15～17：00
会 場 ：神奈川県立国際言語文化アカデミア　ホール

テーマ：
１．循環器の病気と治療　講師：川崎病院　冠疾患集中治療室室長　西澤健也氏
２．看護師の役割　講師：神奈川県立がんセンター　主任看護師　移植コーディネーター　平野弘美氏
参加者：116 名

心臓は人間の生死に直接関係する最も大切な臓器です。休むことなく動き続ける心臓のしくみは知っているようで知らないことも多く、今回の講義は貴重な機会となりました。

平野さんからのお話では、現場で医療通訳が果たす役割について病院側からの感謝のことばがあり、医療通訳スタッフはさらに頑張ろうという気持ちになったことと思います。

川崎市立川崎病院　西澤医師

県立がんセンター　平野看護師

参加者のアンケート回答よりいくつかを紹介します。

【循環器の病気と治療】

●循環器系の通訳経験がなく難しい部分もありましたが、途中に質問を入れながら進行してくださったので分かりやすかったです。

●心臓疾患の通訳は母語でさえ理解しづらいので、大変苦手意識を持っていましたが、今回、心臓のしくみから基本的疾患を実情に合わせてくわしく説明していただいたので、とても勉強になりました。
●循環器の病気は特に心臓関係は難しく、いくつかの病気については断片的な知識しかありませんでしたが、今日体系的に知ることができて、頭の中で整理されました。とても理解しやすい講義でした。
●心臓と血管の病気と言うと、すぐ命に関わる恐ろしい病気だという怖い印象でしたが、西澤先生の講義により、心臓の構造、機能を前よりわかるようになりました。それによって、病気の治療方法や緊急性をより正しく通訳できることに繋がると思っています。
●心臓、血管について、とてもわかりやすく説明してくださり、とてもよかったです。病気については種類が色々あり、病名も一見難しいですが、心臓の構造、機能をわかったうえで考えれば理解しやすいのだと感じました。
●とても複雑な内容でしたが、図を交えて分かりやすく説明していただきました。「狭心症は筋肉痛である」ことなど、病気に対する具体的なイメージを持つことができた。
●非常に専門的なことをわかりやすく講義していただき貴重な機会となりました。心疾患が増えている中、大変勉強になりました。また、技術の進歩を感じることができ、感動的でもありました。
●正直今の自分の医学の知識が低すぎて内容についていけなかった。地道に少しずつ勉強を重ねなければと思った。
●大変わかりやすい内容でした。基本から現状の話もあり良かったです。
●細かい説明でよくわかった。特に洞結節など。息子が「右脚不完全ブロック」の紙を学校から持ち帰り大変心配していたが安心した。
●循環器の病気、検査、治療など分り易く、理解が深まりました。心房細動でも若い患者さんには薬が必要ないなど興味深かったです。
●病気、治療の概説もわかりやすく、医療通訳に求めることにも言及いただいたことで、改めて考える機会になりました。
●解剖から治療法まで幅広くとてもわかりやすい講義でした。中でも、不整脈、心不全については大変勉強になりました。
●現役の医師に講義をしていただく事はとても勉強になりました。難しい内容ですが分りやすかったです。
●夜中に突然「脈がとまる」と家人に言われ　驚いて家庭の医学の不整脈を調べたのですが、該当するところがなかったことがありました。翌日クリニックに行き期外収縮だと知りました。お酒がさめるときに起こることを今回うかがい納得しました。心臓に何らかの異常を感じると不安になりますが、構造とその病気を学ぶことができました。通訳の際の下調べに必須のアイテムになりそうです。
●とてもわかりやすい講義でした。難しい分野でしたが、不確かな部分が少しは明確になり、ためになりました。卵円孔が偏頭痛の原因である可能性があるというお話は驚きでした。

【看護師の役割】

●特殊な例かもしれませんが、看護師が通訳に対してもこんなに心をくだいてくださっているなんて、想像を超えていました。MIC の通訳も医療チームの一員と言ってくださり、嬉しかったですし、通訳にいかれたスタッフの皆さんもがんばられたんだなぁと、尊敬の念を抱きました。また「移植」は通訳が必須だなぁと強く感じます。
●実際の事例に基づいたお話で、とても勉強になりました。看護師さんは患者さんに一番近い存在であり、最も長く接する方でもあるので、今後も看護師さんのお話をたくさん聞きたいです。

●とっても興味深かった。そして考えさせられた。どれほど勉強したら真に役立つ医療通訳ができるのか・・・。課題が山ほどある。
●命に係わることもある通訳の役割を改めて確認し、しっかり勉強しようと思いました。
●医療通訳は医療チームメンバーの一員として、看護師の役割を知ることも大事だなと今までも思っていましたが、今日の講義を拝聴して、医師、看護師の皆さんも医療通訳の役割をケースの紹介を通して以前より理解していただけたことに感激し、うれしく思いました。お互いに理解しあう(役割を)ことが大事だと思います。
●病院としても外国人の患者の受け入れに前向きに取り組んでいることを知って、うれしかった。
●外国人の病気治療において通訳は必要とされていることが再認識できた。
●現場での通訳の課題がより細かく浮彫になったと思います。
●一人の患者の症例をとおして具体的にお話があり、とても興味深く役に立ちました。私も、手術入院中に患者さんがパニックになり、急きょ呼ばれたことがありました。言葉が通じるだけでも安心させられるという経験をしました。
●病院のスタッフの皆さんも通訳の活かし方を共有したほうがいいというお考えは大変心強く思いました。そのことによって結果的には時間の短縮につながると思います。また、通訳の側にも各病院の体制、考えが伝わる機会があればいいと思います。
●最初から看護師として仕事をはじめられたわけではなく、別の仕事を経験後に海外生活を経験された後で看護師を目指し、現在働いていらっしゃるということに大変感銘を受けました。看護師の仕事内容、また、移植コーディネーターとしての現状等を伺うことができとても刺激を受けました。また医師、看護師の立場から医療通訳への要望を伺うことができ良かったと思います。
●看護師から見た外国人患者の治療問題点はとても参考になります。また 24H通訳ができる体制は今後MICの課題だと思います。
●看護師さんからのお話を聞いたのは初めてでしたが、新しい視界が開けました。考えさせられる点が多かったです。
●事例を聞き、大変なケースを緻密に準備され、時間をかけて対応されたご苦労に頭が下がります。
●骨髄移植を例に看護の流れ、その各ステージでの通訳の協力の仕方を具体的に説明していただき、通訳の在り方を再認識できた。

●第１回一般通訳協力者研修

日時：12月9日(金)　13：30～15：30
会場：かながわ県民センター　711ミーティングルーム
テーマ：高校での三者面談通訳で役立つ知識
講師：NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net) 事務局長・県立高校教諭　高橋清樹氏
参加者：35名(8言語)

MICかながわでは、医療通訳以外にも、公立学校、児童相談所、役所など、県内の公的機関を外国籍県民が利用する場合の通訳ボランティア（一般通訳）を派遣しています。

登録者を対象に年2回研修会を行っていますが、今年度第1回目の研修は、12月9日（金）に、学校での通訳に求められるもの、というテーマで講義をしていただきました。

学校で通訳が必要となる主なタイミングとしては、高校入学前後の説明会と6月ごろの三者面談、進級・卒業時の面談があります。　それぞれどのような内容の通訳をすることになるのか、また、知っておくとスムーズな通訳につながる知識として、高校の成績のつけ方、授業選択の時期・ポイントなどについての説明がありました。

説明と並行して、参加者は6つのグループに分かれて、このような通訳に入る前に通訳としてどんなことを準備しておいたらよいか、通訳にあたって心配なことは何か、学校側は通訳にどんな役割を求めていると思うか、などの話し合いをしました。

通訳側からは、さまざまな形態の高校ができてきているので説明が難しいことがある、事前に学校の資料をもらえないか、通訳の前に先生と打合せができないか、という要望が出ていました。また、生徒の現状が「厳しい」と言われても親にうまく伝わらないことがある、などの経験談も出ました。

一般通訳には、現在、22言語で180名以上の登録がありますが、随時、登録者を募集しています（英語・中国語以外）。MICかながわのホームページから登録用紙をダウンロードできます。関心のある方の登録をお待ちしています。

MICのイベント（予定）

●第2回コーディネーター研修

日時：2017年1月25日（水）
会場：かながわ県民センター
テーマ：協定医療機関窓口担当者・コーディネーター意見交換会
～コーディネート対応を協定医療機関と共有する～

●第3回　医療通訳スタッフ・コーディネーター現任者研修

日時：①　2017年2月26日（日）　②　3月4日（土）
会場：①　神奈川県立国際言語文化アカデミア　　②　かながわ県民センター
テーマ：言語別シミュレーション　（言語によって日程が異なります）

●外国人無料健康相談会

日時：2017年3月5日（日）
会場：カトリック末吉町教会（横浜市中区）
内容：胸部レントゲン、血圧、尿検査、身体測定、医師による問診、栄養相談

Good News!

MIC かながわが FIT チャリティ・ランの支援団体に選ばれました。

12 月 11 日(日)に神宮外苑周辺で行われた『2016年度チャリティ・ラン』に MIC かながわより松野理事長がウォーキングコースに、また田中Co.・英語通訳がファミリーで 5.5 キロランコースに参加しました。正式な寄付金額の発表はまだですが、とても嬉しいニュースで 2016 年を締めくくることができました。

MIC かながわのプラカードを手に
左：松野理事長　右：田中Co.英語通訳

・・・FIT チャリティ・ラン（Financial Industry in Tokyo for Charity Run）とは・・・

FIT チャリティ・ランは、地域に根ざした、社会的に意義ある活動をしているものの、認知度等の問題により十分な活動資金を確保できていない団体への寄付を通じて、社会貢献を行います。

また、FIT チャリティ・ランは、業界のより多くの人に地域活動団体を支援する機会を提供するとともに、チャリティ･イベントや地域活動団体への参加を呼びかけることによって社会貢献に努めます。

http://fitforcharity.org/ja/about.html

MIC かながわは認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）です。
寄付は所得税の寄付金控除、または税額控除、いずれか有利な方の適用を受けることができます。
また、神奈川県にお住まいの方は個人県民税の寄付金控除の適用も受けることができます。
会員はいつでも募集しています。ぜひ会員になって私たちの活動を支えてください。

会費は 4 月から翌年3 月までの年度会費です。

●新規会員・継続会員の方
正会員：6,000 円
個人賛助会員：1 口　3,000 円
団体賛助会員：1 口 10,000 円
（賛助会費は寄付扱いとなります）

【会費振込先】
みずほ銀行　横浜駅前支店
普通3819349
口座名義：特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ

ゆうちょ銀行
口座：00270−2−55771
口座名称：MIC かながわ

ことばで支える　いのちとくらし

編集後記

◆ 今年はどんな一年でしたでしょうか。去年の今頃は予想もしていなかったような年の瀬を迎えていますが、来年も目の前に来るものを面白がって過ごしていければいいなと思います。みなさま良いお年をお迎えください。(K.M)

◆ 今年は例年になく時間に追われて走り抜けた1年でした。来年は時間と並んでゆったり歩くような落ち着いた日々を過ごしたいです。流れゆく季節を感じ取る余裕もほしいですね。(M.N)

Multi-language Information Center

ＭＩＣかながわ

特定非営利活動法人

多言語社会リソースかながわ

発行人　松野勝民

編集・発行　MIC かながわ事務局

〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2

かながわ県民センター内

Tel：045－314-3368

Fax：045－342-7918

e-mail : mickanagawa@network.email.ne.jp

URL : http://mickanagawa.web.fc2.com/